

教員各位

紀要編集委員会

020kiyou@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

「教育学研究科紀要第73号」論文執筆のお願い

下記の要領で本年度紀要の編集を行いますので御協力をお願いします。執筆を希望される方は以下のWebページにあるリンクからエントリーしてください。期限は5月29日（金）17:00（日本時間）です。

<https://adm.educ.kyoto-u.ac.jp/kiyou/submission>

また、本紙を含め紀要執筆に関わる書類はすべてこのWebページからダウンロードできます。

なお前号と同じく、原稿掲載の可否については紀要編集委員会が査読結果を基に決定します。

〔投稿資格〕

1. 単著論文の場合、執筆者は本研究科教員・研究員・研修員およびD1以上の大学院学生とします。ただし、研修員については少なくとも受け入れ教員1名の推薦、大学院学生については少なくとも指導教員1名の推薦のある者に限ります。
2. 上記の資格をもつ者が年度途中で身分を変更する場合（転職・休学・退学等）にも、少なくとも前期に在籍すれば、紀要に投稿できます。ただし、身分が変更した後にも、投稿者が査読結果の受諾、改稿、校正などの作業が行える状況にあり、かつ、紀要編集委員会と連絡が取れる状態にあることを条件とします。また、紀要投稿中に身分の変更が生じた時には、本人から紀要編集委員会に、その内容と理由、時期、現住所、連絡方法などを速やかに届けなければなりません。以上の条件を満たさない場合には、投稿資格を失います。
3. 共著論文の場合、本研究科教員・研究員が第一著者である必要があります。教員の場合、学内外の研究者（M1以上の大学院学生を含む）を共著者とするものとし、共著者は第一著者の指導の下に共同研究に従事し、論文内容に責任の負える者、つまり、論文執筆にどのように関与したのか、またはどの部分を分担執筆したのかを明示できる者に限ります。研究員の場合、共著者は本研究科教員に限ります。
4. 第一著者となり得るのは1人1論文とします。

〔論文内容と使用言語〕

5. 原稿の内容は未発表の学術論文とします。
6. 外国語で書かれた論文の投稿を認めます。ただし、外国人留学生は日本語論文を投稿して下さい。

〔原稿枚数および原稿書式〕

7. A4用紙で1枚当たり「42字×38行」とし、第一著者が本研究科教員のものは25枚（本文24枚＋アブストラクト1枚）、それ以外は14枚（本文13枚＋アブストラクト1枚）が上限です。外国語論文の枚数もこれに準じます。ここでの本文には、文献リストや謝辞などを含みます。
8. 最初のページには表題と執筆者名が入ります。余白やフォント等は「紀要論文書式の説明」に従って下さい（ただし、査読段階では執筆者名は「○○○○」と伏せ字にする）。
9. 図表も含めて刷り上がりイメージにできるだけ近い状態で投稿すること。原稿はA4サイズで取り扱いますが、最終的に白黒B5サイズに縮小印刷されますので、図表のサイズや色などにご注意下さい。
10. 日本語と英語、両方のアブストラクトを独立した1ページにまとめます。日本語概要は400文字以内、英語概要は200語以内で書いて下さい。具体的な書式は「紀要論文書式の説明」に従って下さい。
11. 最初のページから最後のアブストラクトページまで、通してページ番号を入れて下さい。
12. 以上の書式を簡単に利用できるように「Wordテンプレートファイル」をWebページで配布しています。「紀要論文書式の説明」を参照しながら、必ず利用して下さい。

〔匿名原稿の作成〕

13. 提出していただく原稿のうち、採録決定する前の査読用原稿は匿名原稿とします。原本を以下の書式に従い修正することで、匿名原稿を作成して下さい。
 - 13.1. 最初のページおよびアブストラクトページの執筆者名を「〇〇〇〇」と伏せ字にして下さい。
 - 13.2. 謝辞を書くときには、必要とする行数を数え、その分のスペースを空けて下さい。
 - 13.3. 論文末尾の執筆者所属情報も削除して下さい。

〔注意事項〕

14. 表題を変更する場合には、原稿投稿時のフォームにて必ず申し出て下さい。
15. 執筆者に抜き刷りの電子データ（PDFファイル）をお渡しします。抜き刷りの印刷を希望する場合は、希望部数を論文掲載決定後にお知らせ下さい（実費をお支払いいただきます）。
16. 校正は誤植修正のみに限ります。大幅な加筆修正は許されません。校正の締め切りも厳守して下さい。
17. 大学院学生の単著論文は、事前に指導教員による指導を受けてから提出して下さい。また、研修員の単著論文は受け入れ教員による推薦を受けて下さい。論文投稿時に、投稿内容に関するチェック項目があり、指導教員（研修員の場合は受け入れ教員）による指導が確認できないときには投稿を受け付けません（論文採択後にも、指導教員による引用文献・投稿論文の書式統一のチェックなどをいただきます）。
18. その他の詳細については投稿規程および別紙をご参照下さい。なお、本年度の紀要編集委員は、福間良明、広瀬悠三、田附紘平、西山慧です。

〔原稿締切・提出先・提出部数〕

19. 投稿の締め切りは、8月31日（月）17:00（日本時間）です。原稿の提出は紀要投稿Webサイト（<https://adm.educ.kyoto-u.ac.jp/kiyou/submission>）を通じて行って下さい。また、投稿時の確認事項についてチェックいただいた後、投稿者が研修員または大学院学生の場合は、Webフォームを用いて受け入れ教員または指導教員による了承を確認します。詳細は、エントリー後に追ってお送りします。

〔紀要電子化・公開に伴う著作権上の注意〕

20. 本紀要に掲載された論文の著作権は本研究科に属します（ただし、自分の論文をまとめて出版するなど、執筆者自身が自分の論文を利用することは差し支えありません）。
21. 論文中に他人の著作物（写真・画像など）に掲載する場合には、その著作権に十分留意して下さい。

以上

〔第73号の進行予定〕 変更の可能性があるため、参考程度にご参照下さい。

執筆依頼状（本紙）、投稿規程等の配布	4月16日（木）
「Webエントリー」締め切り	5月29日（金）17:00（日本時間）
論文投稿締め切り	8月31日（月）17:00
査読結果の通知（採択／条件付き採択／不採択）	10月中旬
査読結果に基づく執筆者の改稿期間	10月中旬～11月中旬（約1ヶ月）
採否の決定および通知	12月下旬～1月中旬
著者による校正	2月上旬～2月下旬
印刷納品	3月末
KURENAI公開	4,5月